

徳川家が治めた江戸時代
キリスト教の禁止と鎖国
多くの殉教者が生まれた



天草・島原の乱ジオラマ
(天草四郎ミュージアム)
提供：上天草市

キリシタン弾圧・迫害。天草は苦難の時代へ
農民の募る不満が起こした天草・島原の乱

- 天草 寺沢広高が天草領主に。悪政と飢饉から天草・島原の乱へ
- 日本 徳川家康による江戸幕府の誕生～禁教政策
- 世界 スペインやポルトガル、オランダの南蛮貿易が盛んに

天草におけるキリシタン弾圧
アダム荒川の殉教

この頃、キリシタン弾圧の波は天草へも押し寄せていました。寺沢時代には1604年、1614年、1629年に、厳しい弾圧が行われていきます。

宣教師が追放されたのち、志岐の教会を守ることになった日本人のアダム荒川は、信徒の元に子どもが生まれると教会で洗礼を授け、病人を見舞い、死者のための祈りを捧げるなど、信者の世話に力を注いでいました。その献身的な姿勢を見た広高は、彼が伝道を続ける限り改宗が進まぬと考え、アダム荒川に棄教を勧めますが拒否されたため監

江戸時代の禁教政策

江戸幕府は、豊臣秀吉の禁教政策を引き継ぎ、さらに強固なものとしていきました。

1612年には天領に、その翌年には全国を対象に教会の破壊や布教を禁止する禁教令を發布します。これをきっかけに、各地の領主たちはキリシタンへ改宗を促し、さらに厳しい弾圧を行っていきます。

1622年には、外国人宣教師や修道士、日本人キリシタンら55人が長崎の西坂で火あぶりや斬首などで処刑されました。この出来事を「元和の大殉教」と呼びます。



アダム荒川の記念広場
(天草郡苓北町富岡字中ノ浦834)

島原における
過酷なキリシタン弾圧

島原では、松倉重政が島原城の築城を始め、領民たちに生活が成り立たないほどの重税を課しました。また、幕府の意向に従った過酷なキリシタン弾圧を行います。

こうした悪政と弾圧により天草・島原の農民たちは追い詰められていきました。



富岡城跡

天草領主、寺沢広高の統治
過酷な年貢に苦しむ農民

新たに天草領主となった寺沢広高は富岡に城を築き、城代を置いて天草を統治しました。平地や大きな河川が少なく耕地面積の限られた天草で、寺沢広高は石高を実際の生産高の倍以上にあたる4万2千石と過大申請。

これにより、天草の農民たちは過酷すぎる年貢の取り立てに苦しむこととなりました。

コラム
天草のキリシタン墓碑群

熊本県内にはキリシタン墓碑がありますが、多くは天草に集中しています。天草市有明町にある正覚寺(南蛮寺跡)のキリシタン墓碑は、日本最古ともいわれ、1606年頃につくられた半円柱形の代表的な墓碑です。五和町二江にある「侍どんの墓」は、半円柱形のキリシタン墓碑を、のちに立碑に転用したものとされています。キリシタンとしての足跡を墓碑からも知ることができます。



正覚寺(南蛮寺跡)のキリシタン墓碑
(天草市有明町上津浦3550)
※県指定有形文化財

COLUMN

悪政と飢饉に

あえぐ農民たち

「天草・島原の乱」が勃発

理不尽すぎる重税や激しい拷問。領主の悪政に苦しめられた天草と島原の農民たちを、さらに不幸が襲います。1634年から1637年にかけて続発した天変地異により、天草・島原一帯は大飢饉に陥ってしまつたのです。しかし、松倉重政の後を継いだ2代藩主・勝家に容赦はありませんでした。年貢を納められないものは、キリシタン同様とみなし、農民にまで拷問を行うようになったのです。飢饉による餓死者や拷問による死者が相次ぎ、言葉にならないほどの苦しみと不安を抱え

た農民たち。あるとき、口之津の庄屋では年貢を納めきれなかったことを理由に、天草から嫁いでいた妊婦が冬の間で拷問を受け、母子ともども命を落とす事件が起きました。こうしたことをきっかけに、島原半島と天草の領民たちは次々と蜂起。キリシタン大名の家臣であつた元武士たちも加わつて、本格的に武装・組織化された一揆軍が結成されました。「天草・島原の乱」のはじまりです。

富岡城の攻略は断念しますが、有明海を渡り、島原の一揆勢と合流し、原城跡に2ヶ月以上籠城します。一度は幕府軍の総大将である板倉重昌を打ち取るなど善戦しますが、最後は幕府軍の総攻撃によつて鎮圧されてしまいました。

戦いの舞台は
天草・島原へ

天草四郎率いる天草の一揆軍は大矢野を出発し、次第に勢力を増していきました。

女・子どもを含む約3万7千人の死者を出した一揆勢。結果的に敗れたとはいえ、農民や元武士たちの寄せ集めで構成された一揆軍が、幕府軍を相手にこれほど団



天草四郎像
(天草キリシタン館)

結した戦いを繰り広げたことに、誰もが驚きました。原城に籠城した人たちは、キリシタンだけでなく、農民・婦女子がいました。これをまとめた天草四郎の性格性は、幕府に大きな衝撃を与えました。幕府はこの一揆を「キリシタンの反乱」と位置づけ、以降禁教を厳しくしていきます。



天草四郎陣中旗

(天草市立天草キリシタン館所蔵) ※国指定重要文化財

天草四郎が原城に籠城していた時に本丸でかかっていたものといわれています。この旗の中央部には聖杯を配し、そのうえには十字をつけたパンが描かれています。

四郎乱物語

(天草市立天草キリシタン館所蔵) ※市指定文化財

天草・島原の乱の状況を克明に綴った軍記物語で、7冊から成っています。天草・島原の乱を題材にした軍記物は、島原半島でも数点書かれています。この本は特に天草で書かれたということで、その信憑性も高く貴重なものです。



関連施設紹介

SPOT



天草キリシタン館

(天草・島原の乱コーナー)

天草・島原の乱の経過を映像で紹介や年表で紹介。原城攻防を描いた「島原陣中屏風」も。

- 住 天草市船之尾町19-52(殉教公園内)
- ☎ 0969-22-3845
- 営 8:30~18:00(最終入館17:30) 休 12/30~1/1
- 料 大人300円、高校生200円、小・中学生150円



天草四郎ミュージアム

南蛮文化とキリスト教伝来の様子を紹介。天草・島原の乱のことを伝える映画やジオラマも。

- 住 上天草市大矢野町中977-1
- ☎ 0964-56-5311
- 営 9:00~17:00(最終入館16:20)
- 休 12/29~1/1、1月・6月の第2水曜
- 料 大人600円、中学生以下300円、幼児は無料



提供：筈北町

富岡城跡／熊本県富岡ビジターセンター

往時の富岡城の一部が復元され、本丸跡では天草の歴史・自然・文化の情報発信も。

- 住 天草郡筈北町富岡字本丸2245-15
- ☎ 0969-35-0170
- 営 9:00~17:00(最終入館16:45)
- 休 水曜(祝日の場合は翌日休)

COLUMN

コラム

「談合島」と呼ばれた島

天草と島原の中間に浮かぶ小さな島「湯島(上)天草市」。天草と島原の領民の代表者たちがこの島に集まり、一揆のための談合を重ねていたことから「談合島」とも呼ばれます。当時16歳だった益田四郎時貞を一揆軍のリーダーと定め、天草四郎へと名前を改めたのもこの場所です。島には鍛冶水盤が残されており、談合の傍らで鍛冶職人が鉄を鍛えて武器を作っていたのではないかと考えられています。